大隅地区漁業士会による食育イベント ~産地見学ツアー(鹿児島第一高等学校SDGsクラブ)~

令和4年12月3日 大隅地域振興局

大隅地区漁業士会は、鹿児島第一高校SDGsクラブの学生・保護者・教員を対象とした産地見学ツアーを、12月3日(土)内之浦にて実施しました。

まずは定置網漁師の漁船に乗り、大型定置網の網持ち~水揚げの見学を行いました。

事務局と漁業士により、作業手順や網の構造について解説を行い、定置網の周りを船で一周し、網の構造や陸からの固定方法、そのスケール感を確認しました。

今回はタチウオやカンパチなどが入網していました。

帰港後は漁協にて選別作業や入札の見学を行い、定置網漁師の寮にて朝食交流会を行いました。

入網していたカンパチで解体ショーを行い、柵から刺身に切る作業を学生に体験してもらいました。

交流会では、学生や保護者、教員から定置網について質問があり、事務局と漁業士で回答しました。

定置網に入網する魚の7割が逃げていくことや、近年漁獲される魚の季節性が無くなってきていること、機械化や通信機器整備が進んでいることなど、みなさん興味津々でした。

今後のSDGsクラブの活動や学生さんの進路の参考になればうれしいです。





乗船見学の様子



獲れたてのカンパチで解体ショー



カンパチの刺身



漁師さんのお母さんらによる朝食



集合写真



柵から刺身に切る体験



メジナの磯辺揚げ



美味しく味わいました



見送りの様子